

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立足守中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒701-1462

岡山県岡山市北区大井360

E-mail ashimoric@city-okayama.ed.jp

Website http://www.city-okayama.ed.jp/~ashimoric/

幼児児童生徒数 男子 68名 女子 65名 合計 133名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「自然を愛し 自立を目指す 心豊かな生徒の育成」を教育目標として、ESDを指導の重点と捉え、ESDの実践を通して、郷土を誇りに思い、地域に貢献できる生徒の育成を目指している。

具体的には、地域の課題を自然・産業・歴史・文化にわけて、探究的な活動を通して見つけ出し、課題克服への方法を地域へ提言していくという「足守中学校地域学習(足守地区活性化プロジェクト)」を柱に、①1年生が地域再発見学習、②3年生が地域学習を行った。

① 1年生 地域再発見学習

本校は学区に足守小学校と蛸明小学校の2小学校があり、それぞれに地域性を生かして特色のある探究活動を行っている。1年時では、少人数のグループを作り、実際に地域に出かけ、地域の方々に話を聞くことで、小学校で学んできた知識を深め、お互いの小学校での活動を振り返りながら地域再発見学習を行った。

② 3年生 地域学習

3年生の取り組みでは、これまで学習してきたことを基に、地域の自然・環境、生活・産業・福祉、歴史・文化の観点から少人数のグループごとにテーマを決め、学区の現状やニーズについて調査研究し、その将来について考え、自分たちが考えた改善策等について、行政を含めた地域の方々や保護者に向けて地域学習発表会の場で提言を行った。



① 地域再発見学習 インタビュー



① 地域再発見学習 発表会



② 地域学習 活動



② 地域学習 発表会



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input checked="" type="checkbox"/> 8. その他(郷土への愛着)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(夏季休業中)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

<ul style="list-style-type: none">・ 土砂災害防止法「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」について・ 愛知県半田工業高等学校 土木科 『課題研究の取り組みーダンボールで作る、人が渡れる橋の制作ー』・ 文部科学省 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/1296809.htm)・ 廃校舎の再利用例 (http://matome.naver.jp/odai/2141163239834266701)・ 福谷ネット (http://townweb.e-okayamacity.jp/fukutani-r/)・ 間引きメロンを使ったドレッシング作り (http://cookpad.com)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

足守中学校区共通教育目標「郷土を愛し 心豊かで たくましく生きる人間の育成」を達成するために、中学校区で保・幼・小・中のそれぞれの発達段階で身に付けさせたい内容を、「地域・環境の系統表」と「地域・環境の指導内容の関係図」にまとめている。それを基に縦のつながりや横のつながりを意識しながら、活動内容を決定している。

また、中学校教育目標「自然を愛し 自立を目指す心豊かな生徒の育成」の実現を目指し、郷土を誇りに思い、地域に貢献できる生徒の育成を目指した、地域交流及び地域素材を活用したE S D教育活動の充実と積み重ねを指導の重点としている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

3年生が学区の現状やニーズについて調査研究し、自分たちが考えた改善策等について地域学習発表会の場で、全校生徒、行政、地域、保護者に向けて提言を行った。その後、次年度取り組む学年へ向けて引き継ぎ書を作成している。

また、取り組みを行い、不具合があった場合には、足守中学校区で作成している「地域・環境の系統表」と「地域・環境の指導内容の関係図」を毎年見直して改定している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

平成29年度学校自己評価アンケートを行った。『郷土を愛する心』や『地域行事への参加』の項目が、生徒、保護者共に岡山市の平均を上回っている。しかし、「地域や岡山市の歴史に興味や関心がある」「地域や岡山市の自然に興味や関心がある」という項目は肯定率が60%を下回っているため、地域学習をさらに深め、足守の将来を担う大人になるという自覚を育てていきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

9月に3年生が地域学習発表会を行った。パワーポイントを使ったステージ発表と展示ブースでの発表に分かれて、それぞれのグループが探究の成果と次世代に向けての提案や地域問題に対しての改善策を発表し、行政・大学の有識者や地域の方々からの講評をいただいた。

発表会後も岡山大学地域総合研究センター（アゴラ）の流尾さんや、防災研究協会の西村先生から助言をいただいているので、来年度の取り組みに活かしたい。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

グループごとに地域コーディネーターや連合町内会長さんなど、様々な地域の方の協力をしていただいた。岡山大学地域総合研究センター（アゴラ）の流尾さんの協力でももたろう観光センターにプレゼンに行き、岡山市内の公民館にチラシやポスターを置かせてもらうことができるなど、新たなつながりも構築された。また、廃校舎の利用を考えたグループは、岡山市教育委員会事務局就学課に話を聞きに行った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの交流は行っていない。

足守中学校区の岡山市立足守小学校と岡山市立蛸明小学校とは、保・幼・小・中のそれぞれの発達段階で身に付けさせたい内容を、「地域・環境の系統表」と「地域・環境の指導内容の関係図」にまとめ、縦のつながりや横のつながりを意識しながら、活動している。

- ⑧ ユネスコス쿨の活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

実際に地域に出向いて活動することで、生徒一人ひとりが社会に触れ、責任感を持ったり、自ら考えて動いたりすることのできる場面が増えた。
また今年度、これまでの先輩の取り組みを受け継ぎ、防災研究所の西村先生からご教授いただきながら、足守地区のハザードマップを作成した。災害が起こることが少なく防災に対する意識が低いため、今後予想される災害が起きたときの知識や対処方法などを、引き続き地域に発信していく。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成29年度と同様に1年生で地域再発見学習を行う。本校は学区に足守小学校と蛍明小学校の2小学校があり、それぞれに地域性を生かして特色のある探究活動を行っている。5月末から各小学校で学んできた内容を調査し、テーマ別に生徒の希望を取り、グループを決め、地域に出て調査活動を行う。7月には調査結果をグループごとに模造紙にまとめ、地域再発見学習発表会を行い、学年や保護者に向け発信する。

3年生では地域学習を行う。小学校の時から続けてきた地域の探究活動の集大成として、地域の自然・環境、生活・産業・福祉、歴史・文化の観点から少人数のグループごとにテーマを決め、学区の現状やニーズについて調査研究し、その将来について考え、自分たちが考えた改善策等について、地域に提言する活動を行う。提言は、地域行政を含めた地域の方々や保護者に向けて、地域学習発表会の場で提言という形を取る。平成30年度以降は「防災」についての学習をより深めていく予定である。